

ごあいさつ

本市の偉人伊能忠敬翁の言葉に「歩け、歩け。続ける事の大切さ。」とあります。

困難な状況の中、危険を顧みず当時の最新技術である天体観測や杖先羅針盤を用いて広大な実測地図を作り、並外れた努力と継続することの重要性が詰まった言葉です。

現在、全国的に人口減少・少子高齢化が進行しており、本市では2022（令和4）年4月に一部地域が過疎地域に指定されるなど、深刻な状況に陥っています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延やテクノロジーの急速な進歩により、市民の皆様の生活様式や価値観など、私たちの生活は大きく変化しました。

今後も様々な変化やリスクが想定され、この先の社会を見通すことは困難な状況ですが、先が見えないからといって立ち止まるのではなく、ビジョンを描き、方向を見定めたくうえで、そのための一歩を踏み出さなければなりません。

その羅針盤となるのが「第2次香取市総合計画 後期基本計画」であります。

本計画の策定にあたっては、様々な課題に的確に対応するため、人口動態の推計や社会的潮流の分析、前期基本計画の効果検証などを行ったほか、市民意識調査、中高生アンケート、自治会等意見聴取、市民ワークショップ「かとりみらい会議」など、様々な手法により市民の皆様のご意見をお聴きし、頂いたご意見を計画内容に反映して策定しました。

市民の皆様との対話を大切にしながら、将来都市像「豊かな暮らしを育む 歴史文化・自然の郷 香取 ～人が輝き 人が集うまち～」の実現のため、最大限の努力をもって市政を推進して参りますので、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

おわりに、本計画の策定にあたり、香取市総合計画審議会及び香取市まち・ひと・しごと創生推進会議の皆様をはじめ、多くの市民の皆様から、たくさんのご意見を賜りました。心から感謝いたしますとともに、ここに厚く御礼申し上げます。

令和5年3月

香取市長 伊藤 友則

